



NHO Nishigunma Hospital

西群馬

— No.58 —

平成22年5月(2010年)

編集 独立行政法人 西群馬病院
発行 国立病院機構

電話 0279-23-3030

FAX 0279-23-2740

E-mail: nishigun@nng.hosp.go.jp

http://www.hosp.go.jp/~wgunma



“病院前道路が改修されました” 管理課長 若林信久

市道（渋）大日向線（グリーン牧場からの取り付け道路）が拡張され病院まで快適に通行できるようになりました。また、カーブがきつく、狭い橋も改修され「西群馬橋」と命名されました。引き続き、西駐車場から伊香保温泉に向かう道路も改修工事が進んでいます。

独立行政法人
国立病院機構

西群馬病院の基本理念

患者さまと共に考える医療

1. 専門性の高い良質な医療を推進します
2. 十分な情報を提供し、生活の質（QOL）を尊重します
3. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します
4. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児(者)の専門病院として、社会に貢献します
5. 健全な経営と適正な運営に努めます

目次

- * 平成21年度院内学会最優秀賞を受賞して 1
- * 退職者あいさつ 4
- * がんサロン「やすらぎ」の命名、開設について 6
- * 平成21年度院内教育委員会報告 7

シリーズ

- * 診療科紹介 9
- * 健康シリーズ 10
- * 医療安全管理室だより 11
- * 重症心身障害児(者)病棟だより 12
- * ボランティアだより 13
- * 地域医療連携室だより（地域医療機関の紹介） 14
- * 栄養管理室だより 16
- * がん相談支援センターのお知らせ 17
- * 診療方針・看護の理念 18

平成21年度院内学会最優秀賞を受賞して

臨床検査科 内川 正弘(現、国立病院機構長野病院)

平成21年度院内学会にて、「病理組織検査の院内移行における効果と今後の課題」をテーマに発表いたしました。

病理組織検査は、生検（病変の一部を検査のために採取すること）または手術により切除された臓器を標本にして、病理医が病変の性質や良悪性を診断する検査です。平成21年からの常勤病理医着任を契機に、外部検査機関に委託していた病理組織検査の院内実施と安定した検査体制を整備することを目標に取り組みで参りました。

その結果、当院にて病理組織標本作製と診断を行うことで、報告まで要する日数の大幅な短縮が可能となりました。凍結組織作製装置導入により、懸案であった手術中の迅速組織診断も可能となり、診断精度の向上がみら

れました。病理標本作製現場においては、ホルムアルデヒド局所排気装置が設置されたことで、体感的にも数値的にも作業環境の改善がみられました。また臨床医と病理医が、いつでも情報交換と意思疎通できる環境が整備されたことは、診療の質の向上に大きく貢献するものと考えられます。

今後は、将来の電子カルテ化と新病院建設へ向けて、他部門と連携して準備を行い、がん診療拠点病院に相応しい病理部門の構築を目指したいと考えます。

今回の取り組みが、渡邊臨床検査科長、岩科病理医長、検査科職員をはじめ、病理組織検査に関わる職員全員のチームワークの結果、一定の評価を得られたことに深く感謝申し上げます。

病理組織検査の流れ-固定から薄切

検体の写真撮影、固定、切り出し

包埋、ブロック作製、薄切

生材料→固定→細切→パラフィンで固める→薄く切る

病理組織検査の流れ-染色から報告

リンパ節標本

HE染色 通常の染色 CD3免疫染色 Tリンパ球 CD20免疫染色 Bリンパ球

肝臓標本

HE染色 通常の染色 PAS染色 多糖類 Gram染色 真菌

染色標本作製→顕微鏡で観察→組織診断→報告書作成

病理組織検査の流れ-切り出し

- ▶病理医と臨床検査技師が協力して行う作業
- ▶手術により摘出された臓器の詳細な検索
- ▶ホルマリン局所排気装置下で作業を行う

平成21年度院内学会優秀賞を受賞して

療育指導室長 戸次 義文

院内学会で「施設利用負担金ゼロをめざして」と題した発表が優勝賞となり、大変ありがとうございました。

重症心身障害病棟は診療報酬（医療）と給付費（福祉）の両面からの収益で健全な経営運営を図っています。平成18年の障害者自立支援法施行により措置入院から契約入院へ制度が変わり、ご家族の負担は応能負担から応益負担となり福祉給付費の1割を病院へ直接支払うことになりました。

自己負担の総額は月約280万円、年間約3,400万円であり、未納が増加すると病院経営に影響を及ぼします。また、負担を義務づけた契約の不履行を理由に退院を余儀なくされる懸念もあるため未納を生じさせない取り組みは重要な課題になっています。

平成20年度の未納率は全国平均6.7%に対して当院では15%と高く、月額最高時で約170万円の未納があり憂慮すべき状況になっていました。

未納の要因は障害基礎年金のずさんな管理、制度変更の理解の欠如、振込口座への入金漏れ、生活困窮など様々であり、個々の状況に応じた対応策が求められました。負担金の支払意識の向上を図るためにはご家族に対する理解を促すことが重要であり、面談や家庭訪問など繰り返しながら話し合いを重視してきました。また、未納月があれば次月に2ヶ月分を請求するなど、常に未納状況を把握しながら

ら対処し、また、負担能力のある長期の年金受給者（家族）には年金管理に責任もてる成年後見人の変更を家裁と協議して対処してきました。こうした取り組みの結果、約2年間で未納率2%まで改善し現在に至っています。

私たち福祉職が何故に未納対策に取り組むのか、それは単なる集金活動ではなく、障害者本人の年金を流用させないために、未納によって退院に追い込むことのないように、そして家族の社会的責務を果たしてこそ入院している障害者の権利が守られることだと確信しているに他なりません。

今後も引き続きご家族との信頼関係を構築しながら未納ゼロをめざし、重症心身障害児（者）が安心して入院生活を送ることのできるよう支援していきたいと思えます。

未納改善:昨年度との比較



平成21年度院内学会優秀賞を受賞して

栄養管理室 青野 千里(現、国立病院機構甲府病院)

平成21年度院内学会にて「重症心身障害児(者)病棟における給食・栄養管理について」を発表しました。

このたびは、優秀賞という立派な賞を頂きありがとうございました。

この発表にあたり、色々なことを整理する中4年前、期待と不安を胸にここ西群馬病院へ赴任した事を思い出しました。

当時は、重症心身障害児(者)の方々というものがどのような状態かもわからず、手探りの状態での献立作成や病棟とのやりとりでした。食材はどのようなものが噛みやすく飲みこみやすいのか、またむせやすいものは何なのか、いかに安全に召し上がって頂けるのか一般の方の食事とはまた違った角度から「食事」というものを見ることとなりました。特に、重症心身障害児(者)の方々は、自ら意見を言えることがほとんど出来ないので、

周りのスタッフが気づき、改善していかなければいけないことばかりでしたので、難しいことばかりでした。その中で病棟の方からのご意見等参考にさせて頂きながら少しずつ、献立内容を変更し安全でおいしい食事提供を心掛けて参りました。

また、摂食機能訓練研修会などにも参加させて頂き、咀嚼や嚥下の状態の評価や、個人に合った食形態の選択の仕方など大変勉強になりました。

ここで経験し学んだことを生かし、3月いっぱい西群馬病院を離れることとなりますが、次の施設でも少しでも患者様のために、おいしく楽しい給食・栄養管理をしていけたらと思います。

今後とも栄養管理室一同頑張っ参りますので、何卒よろしくお願い致します。

ありがとうございました！

～退職者あいさつ～

退職のご挨拶

診療放射線技師長 宮崎みよ子

このたび3月31日付けで、定年退職をいたしました。

多くの方々を支えられ、つつがなく定年を迎えられたことに、心より感謝しております。顧みますと、昭和46年4月に採用となり、沼田病院、高崎病院、西群馬病院と39年間、勤務してまいりました。

西群馬病院には通算しますと6年3カ月勤

務いたしました。

平成6年4月から2年間、平成16年1月から2年3カ月、技師長としては、平成20年4月から2年間お世話になりました。

画像診断が、フィルムからモニター診断に移行して、H22年度の共同購入予定のX-TVにより全てデジタル化し、全ての画像がモニターで参照できます。

また、3月にMRI装置もバージョンアップし、より良い画像を提供出来ますので、機器の共同も宜しく願います。

西群馬病院も新病院建設案が出ていますの

で、協力して使いがっての良い病院を構築して下さい。

皆様のご多幸を願ひまして退職のご挨拶といたします。大変お世話になりました。

退職によせて

生理学検査主任 岸 悦子

平成22年3月31日をもちまして定年退職いたしました。今日まで勤務を続けることができたのは、上司、先輩や同僚、また多くの病院職員皆様の御蔭と心から感謝し、お礼を申し上げます。私は、昭和46年8月2日、旧国立高崎病院に採用され、平成11年4月1日付けで西群馬病院へ配置換えとなりました。多くの思い出、人々との出会い、本当に懐かしく思い起こされる38年と8ヶ月です。県内で最も早く、抗酸菌の液体培養法を導入し培養結果の迅速化を図ったこと。DOTSカンファレンスでは、結核という疾患が色々な社会的問題を抱えていることや10病棟の皆様の献身的な看護が患者さんから大きな信頼を得ていることなど、改めて知ることができたこと等々、結核の検査に携わった

ことが最も印象深く思い出されます。正しい結果を得るためには、検査材料の質が大切となります。そのことで外来や病棟の方々に随分と協力して頂いたこと、本当に有難う御座いました。3種病原体のkokshizyoideasimitais (真菌) を分離した際には、ICT部会の適切な対応により、院内感染を防ぐことが出来、当時を思い出すと「ほっと」します。

就職当時、今のような自動分析器はなく、全てマニュアルで手作業でした。検査技術の進歩は目覚しく、比較にならないほど大きく変わりましたが、先輩に教えて頂いた「患者さんと共に」が基本は、今も昔も変わらないのだと実感しています。最後になりましたが、西群馬病院の益々のご発展と職員皆様のご健康をお祈り致しております。

退職のご挨拶

副看護師長 横手けさ子

平成2年1月1日に採用され20年間西群馬病院に勤務し、この度定年退職を迎えることになりました。この間緩和ケア病棟、手術室以外の病棟を経験させていただき、沢山のスタッフ、他部門の方々に支えられ様々な事を経験し学ぶことが出来ました。この20年間には西群馬病院は大きな変化を遂げてきたと思います。退職にあたり様々なことが思い出されます。採用当時は現在のように院内教育が充実されておらず、プリセプターもいない状態の中、独学と先輩ナースの看護技術を盗み取りし、看護をしてきました。平成18年12月に病院機能評価を受審するにあたり、各部門でマニュアルの整備に追われる毎日

で、休日も病院に出向いてマニュアル作成や機能評価受審の準備をしました。平成19年6月から導入されたオーダーリングでは、軌道にのるまで勉強会を重ね、コスト漏れがないよう医師の協力も得て病棟独自の入力手順を作成しました。現在は医師がオーダーした注射せんを使用していますが、採用当時は看護師が深夜業務の殆どの時間を費やして、注射せんを手書きしていたこともあり懐かしく感じます。大きな病気もせず全力で頑張っただけ感謝いたしております。

最後に、西群馬病院のますますの発展と皆様のご健勝を心から願ひ、退職の挨拶とさせていただきます。

がんサロン「やすらぎ」の命名、開設について

副看護部長 渡部 祐子

平成21年11月に当院の旧2病棟にがんサロン「やすらぎ」が開設されました。

当院は地域がん診療連携拠点病院として地域に根ざした医療を行い、緩和ケア病棟も群馬県内で最初に開設されました。

がんサロンは患者様が集い、情報交換の場として多目的に活用できる場を確保したいと考え病院として開設しました。「がんサロン」という響きは患者さまにとって病気のことを理解して入院・外来通院しているとはいえインパクトがありすぎるという声がありました。そこで患者さま及びご家族、職員にがんサロンの名称を公募し多数の応募から「やすらぎ」が選ばれました。「やすらぎ」の名前に込めた思いとして患者さまやご家族にサロンに来ることで少しでも安心できる情報が得られ、ほっと「やすらぎ」を感じて前向きな気持ちになれると良いと思い命名いたしました。

現在は、外来が主催しているウィッグ（医療用かつら）の取り扱いや頭皮ケアの方法、がん性疼痛管理認定看護師による痛みについての知識や伝え方に関する講義と個別相談、皮膚・排泄ケア認定看護師によるストマ（人工肛門）ケアや装具の装着についての講義や個別相談等が定期的に関催されております。各種開催につきましては、院内の専用掲示板にポスターでご紹介しております。

サロン室内の真中には大きな

テーブルと座りやすい椅子、ソファセット、テレビ、DVD、インターネットに繋がっているパソコン、パンフレットや図書などの備品があります。まだまだ不足している物もあると思いますので、いろいろな意見や要望を病院にお寄せいただき充実したサロンにしていきたいと考えております。まだ来室されていない方がいらっしゃいましたら、是非一度お越しください。

今後は患者さま・ご家族の方々に自主的に活用していただくと共にさまざまな企画を考えていきたいと思っております。尚、部屋の予約や使用に関する窓口は、医療社会事業専門員（メディカルソーシャルワーカー）となっておりますので是非お声をかけていただければと思います。



がんサロン（やすらぎ）でのがん性疼痛管理認定看護師による説明

平成21年度院内教育委員会報告

院内教育委員会委員長（内科系診療部長）
渡邊 寛



平成16年1月に院内教育委員会が発足してから6年が経ちました。職員の自己研鑽の場として自由参加で開催している「院内教育講演会」ですが、平成21年度は昨年度より多く15回開催されました。各々の講演題目、講師や発表者、参加人数を表1に示します。平成20年度より「医療安全」や「院内感染」などの講演会に、院内だけでなく近隣の医療機関の医療従事者にも広く参加のご案内をさせていただいており（参加無料）、今年度も3回の講演で計28名の院外からの参加者がありました。院外からの参加者を含めると今年度は延べ参加人数が693名であり、1回あたりの平均参加人数は49.5名でした。参加者の内訳を表2に示しますが、産休、育休、病休などの休職者を除く常勤職員282名のうち186名、66.0%の職員が参加したことになり、昨年度よりもやや高い参加率でした。例年通り部門別では医師、看護師長、コメディカル、事務職の参加率が高い傾向にありました。表3に参加回数を示しますが、7回以上参加できた職員は全体の13.1%であり、特に夜勤などある看護職員においては平均2、3回の参加となっていて60名（21.3%）が1度も参加できませんでした。

今年度の講演内容では、統括診療部長の企画によって2回開催されたOPC(Operated Specimens Pathological Conference)や輸血療法委員会による講演会、さらには管理課と渋川警察による「院内暴力対策」など新たな企画もありました。また例年通り院内学会も行われ、医療安全・経営改善などをテーマとして9演題の発表があり、多くの職員が参加しました。

毎年恒例となりましたが、講演会に積極的に出席された職員または演者や発表などで貢献された職員に対し、委員会で審査して年度末表彰者を決定しました。3月31日に表彰式が行なわれ表4に示すように各部門から選出された6名の方々に表彰状が授与されました。

今後も全職員に自己研鑽の場を提供し、病院全体の医療の質の向上を図るべく機会を多く持ち、院外の医療従事者の方にも多数参加していただけるように、22年度も新企画を用意していきたいと考えております。企画等に関してご意見・お問い合わせがあれば委員会まで遠慮なく申し出ていただきたいと思います。

表1.講演内容

*：院外講師

参加人数	部 門	実 施 日	講師・発表会	題 目	参加人数
第1回	診 療 部	H21.4.23	高澤 由雄	肺癌の化学療法	59名
			川島 修	肺癌の外科療法	
第2回	診 療 部	H21.5.14	渡邊 覚	結核の動向と結核病原の基礎	65名
			東郷 望	肺癌治療のアルゴリズム	
第3回	診 療 部	H21.5.21	大塚 敏之	C型肝炎の治療	50名
			小林 光伸	大腸癌の診療	
第4回	診 療 部	H21.5.28	澤村 守夫	血液とその周辺	48名
			松本 守生	悪性リンパ腫、多発生骨髄腫の診断・治療(入門編)	
第5回	診 療 部	H21.6.5	横田 徹	乳がん治療最新の知見	45名
			小林 剛	がん補完代替療法について	
第6回	N S T	H21.6.18	松浦 正名	放射線治療について	34名
			守田 敏洋	病院カスケードの最下流～手術室の戦略的活動～	
第7回	医 療 安 全	H21.6.25	1 鶴巻 寛朗	第1回OPC (operated Specimens Pathological Conference)	74名(院外8名)
			岩科 雅範	1 ER/PgR陽性、HER2/neu陰性乳がん患者の多発生骨転移の原発巣は肺か乳腺か？	
第8回	N S T	H21.7.14	横田 徹	2 急激な経過のEpidermal Growth Factor Receptor Mutation 陰性肺 Pleomorphic Carcinoma 患者	22名
			中野 哲宏	2 急激な経過のEpidermal Growth Factor Receptor Mutation 陰性肺 Pleomorphic Carcinoma 患者	
第9回	院 内 感 染	H21.7.22	四反田 実*	NST支援システムについて	40名(院外2名)
第10回	輸 血	H21.11.12	澤村 守夫	ICTの役割と新型インフルエンザ	49名
第11回	院 内 学 会	H21.12.3	竹下 昌利	細菌感染のお話～感染対策は大丈夫ですか？～	98名
第12回	診 療 部	H22.1.22	1 藤田 亜希子	血液製剤を取り巻く感染症のリスクについて	39名
			各部門より	テーマ 医療安全、経営改善、その他 9演題	
第13回	医 療 安 全	H22.2.18	1 東郷 望	第2回OPC (operated Specimens Pathological Conference)	41名
			松浦 正名	1 GIST (消化管間質腫瘍：Gastrointestinal Stromal Tumor) 3例 【GISTの疫学、治療ガイドライン、実際の治療】	
第14回	医 療 安 全	H22.3.2	岩科 雅範	2 巨大縦隔 York Sac Tumor (卵黄のう腫瘍) 【術前診断、術前化学療法】	14名
			小林 光伸	2 巨大縦隔 York Sac Tumor (卵黄のう腫瘍) 【術前診断、術前化学療法】	
第15回	医 療 安 全	H22.3.11	守田 敏洋	人工呼吸器説明会【HAMILTON・C2】	71名(院外18名)
第16回	医 療 安 全	H22.3.11	五十嵐 雄一*	隔壁製剤エルネオバの説明会	71名(院外18名)
			若林 信久	院内暴力対策マニュアルについて	
第17回	医 療 安 全	H22.3.11	中沢 恵一*	不審者に対する対応	71名(院外18名)
			中沢 恵一*	不審者に対する対応	

表2.参加者内訳

常勤職員	定 員*	参加人数	のべ参加数
事務職	15	13	51
福祉職	7	3	3
技能職	22	7	8
医師	28	26	171
看護師長	14	14	104
看護師A	9	7	20
看章師B	160	91	149
コメディカル	27	25	156
計	282	186	662

*休職者を除く、途中転出入者も含む

非常勤職員	—	—	1
派遣・委託	—	—	2
院外参加者	—	—	28
合 計	282	186	693

表3.常勤職員参加回数

参加回数	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回
事務職	2	7	1	2	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉職	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
技能職	15	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医師	2	2	7	3	2	4	2	1	2	1	2	1	2	1	0	0
看護師長以上	0	0	1	1	5	1	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0
看護師A*	2	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看章師B*	60	85	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コメディカル	3	3	1	3	4	5	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0
計	88	110	16	13	11	11	9	6	4	3	3	1	0	0	0	0

*看護師Aは定時勤務者。看護師Bは勤務交代を有する者。

表4.21年度表彰者

部 門	職 名	氏 名	参加回数	備 考
医 局	病理医長	岩科 雅範	11回	講演2回
検 査 科	臨床検査技師長	竹下 昌利	11回	講演2回
看護師A※	看護師長	櫻井 益代	9回	講演1回
看護師B※	看護師	柳井美智子	5回	
	看護師	鈴木 雅美	5回	
	看護師	荻原 崇史	5回	

※看護師Aは、定時勤務者。看護師Bは、勤務交代を有する者。



薬剤科長 佐橋 幸子

当院の薬剤科は、現在8名の薬剤師が勤務しております。薬剤師というと、一番接する機会が多いのは町の薬局で薬を販売している薬剤師でしょうか。

外来ではなかなか接する機会はないので、病院薬剤師がどのような仕事をしているか簡単にご紹介します。

病院薬剤師の仕事は大きく2つに分かれます。

1つは、主に入院患者様の薬を調合する調剤です。内服薬をそろえたり点滴の抗がん剤調製を行います。点滴の抗がん剤を調製する時は、菌が入らないよう工夫された無菌室にて調製しています。当院では、平成21年7月より外来でも快適な部屋で抗がん剤の点滴ができるようになりました。

もう1つの仕事は、お薬の説明や副作用の確認のために入院患者様にお話を伺う仕事です。ほとんどの病棟に薬剤師が訪問していますので、どうぞお声かけ下さい。お薬に関すること何でも結構です。親切(?)な薬剤師がきつとお役にたつ情報を提供できると思います。患者様に満足いただけるような医薬品情報作成という緑の下の力持ちも薬剤師の仕事です。何か知りたい事がありましたら「そばに薬剤師!」と思ってください。

病院の中では、いろいろな職種が集まって治療サポートのための専門チームを作って活動しています。たとえば、栄養・褥瘡管理や感染予防、痛みのコントロールなどありますが、ここにも薬剤師が参加しています。よりよい薬の選択や投与量の調整など薬の面でのサポートを担当します。

昨今、薬の医療事故について大きく報道されるようになりました。そのため、薬の安全な使用を目的に、特に厳重な管理を義務づけられている薬が増えています。薬剤師は、薬剤科内の薬だけではなく、病棟に保管されている薬や患者様がお自分で管理(自己管理)している薬まで管理しなくてはなりません。医療事故防止のため、いろいろなルールを考えたり新しい情報をお知らせするのも薬剤師の大きな仕事の一つになりました。

現在、世の中には、お薬に関する情報がたくさんあふれています。薬剤師は、その沢山の情報から患者様一人一人に必要な情報をふりわけてわかりやすく情報提供することを心がけています。

がん検診を「地域がん診療連携拠点病院」で受けてみませんか。

検診の種類

★肺がん検診(ヘリカルCT、喀痰細胞検査) 費用 10,000円(消費税込み)

※肺がん検診はCT検査のみの場合7,000円(消費税込み)となります。

★消化器がん検診(胃・十二指腸ファイバー、腹部超音波検査、便潜血反応、直腸指診) 費用 15,000円(消費税込み)

※ただし、オプションとして、1.肝炎検診(2,000円(消費税込み)) 2.糖尿病・高脂血症検診(1,000円(消費税込み))を付加できます。

ご予約・お問い合わせ

地域医療連携室 電話0279-23-3294

※群馬県内では、西群馬病院と他9病院が「地域がん診療連携拠点病院」に指定

我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん等)について、住民がその日常生活圏域の中で全人的な質の高いがん医療を提供できる病院

内科医長 松本 守生

①リンパ節の腫れる病気

リンパ節が腫れる病気にはウイルス、細菌、結核菌などの微生物が体内に侵入して起こるリンパ節炎や原因不明の壊死性リンパ節炎、全身性の疾患である膠原病などの自己免疫性疾患によるリンパ節腫脹などがあります。これらは良性のリンパ節病変であり、原因になっている微生物や原疾患の治療を行うことで改善が期待できます。また対症療法のみで経過を見ているうちに改善することも少なくありません。

一方、悪性のリンパ節病変としては胃がん、肺がん、乳がんなどの疾患がリンパ節に転移したものやリンパ節そのものの悪性腫瘍（がん）である悪性リンパ腫などがあります。今回はこのリンパ節そのものががんである悪性リンパ腫についてお話したいと思います。

②悪性リンパ腫

悪性リンパ腫はリンパ節を構成しているリンパ球が悪性化（がん化）して起こる病気で、一部のリンパ腫を除いて原因は不明です。冒されるリンパ節が1か所や2か所である場合から、当初より全身のリンパ節が冒されたり、リンパ節以外の臓器にがん細胞（リンパ腫細胞）が入り込むことも多く、一般的には手術で治療する病気ではありません。いろいろな抗癌剤の組み合わせによる化学療法やリンパ腫細胞の表面のしるし（Bリンパ球に存在するCD20と呼ばれる抗原）を標的にした抗体療法、放射線療法などで治療します。他のがんに比べ治療が有効なことが多く、治癒可能な病気と考えられます。

③悪性リンパ腫の種類

悪性リンパ腫と一言に行っても細かく分ければ何十種類もの種類があります。大きくホジキンリンパ腫と非ホジキンリンパ腫に分けられますが、さらにそれぞれ多くの種類に分類されます。各々のリンパ腫により病状や進行程度が異なるだけでなく、使用する薬剤や治療の方針も異なりますので、ご自分のリンパ腫に見合った治療を見つけていかなければなりません。

④悪性度（リンパ腫の組織型）

がん化しているリンパ節の細胞（リンパ腫細胞）

のたちの悪さを悪性度とといいます。低悪性度、中悪性度、高悪性度と大きく分けられ、ゆっくり進行するもの（低悪性度リンパ腫）から、週単位で急速に悪化するもの（高悪性度リンパ腫）まで様々です。悪性度により行う化学療法が異なったり、治療の強さが変わります。この悪性度は腫れているリンパ節を手術で切除した後、顕微鏡で病理組織学的に検討することで決定しますので、腫れているリンパ節をしっかりと取ってくるのが重要です。

⑤病気の進行度（病期分類）

リンパ腫細胞が体のどの程度まで広がっているかを示す指標として、病期分類というのがあります。CT、MRI、胃カメラ、骨髄検査などを行い、病変がどこに存在するかを検討し、第一期から第四期までに分類します。腫れているリンパ節が1か所であれば第一期ですが、肺、肝臓、骨髄などに病変がある場合には第四期と考えられ、最も進行した状態と判断されます。この病期の違いにより治療の回数が変わったり、放射線を使用するか否かが決まります。

⑥悪性リンパ腫の治療

悪性リンパ腫には多くの種類が存在し、また病期も患者さんそれぞれで違うため、ご自分の悪性度、病期、年齢、病状などに合わせて最適な治療を決定します。低悪性度のリンパ腫では副作用の少ない抗がん剤治療や抗体療法で治療することが多いのですが、中悪性度のものでは腫れているリンパ節が消失するまでしっかり治療する必要があります。また最初の治療が有効でない場合や再発された場合、診断時に治りづらいものと判断された場合には大量の抗がん剤投与を行う自家末梢血幹細胞移植という治療を行います。当院では群馬県内で最も多くの患者様に自家末梢血幹細胞移植を行って病状の改善を図っています。

リンパ球はBリンパ球とTリンパ球に分類されますが、近年Bリンパ球に対する様々な抗体が開発され、抗体療法と抗がん剤の併用による化学療法が現在の標準療法となり、高い治療効果が得られています。また抗体と放射性同位元素を組み合わせた治療薬も登場し、治療の選択肢がさらに増えています。

今後有望な新規薬剤が発売される見込みであり、さらなる治療効果が期待されます。

医療安全管理室だより

医療安全管理係長 櫻井 益代

平成22年4月1日医療安全管理係長の命を任せられました櫻井です。就任してまだ日が浅く、今までの病棟管理業務よりもさらに業務の範囲が拡大しまだ戸惑うことばかりです。医療安全は医療の質に関わる重要な課題です。西群馬病院全体が安全な医療の提供を継続できるような皆さまの力をお借りしながら日々努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて当院の医療安全管理室は毎年、年に3回、医療安全のための職員研修を行っています。平成21年度の3回目の職員研修は、3月11日(木)「院内暴力対策」について2題の講演と実技訓練を実施しました。参加者は院外から18名、院内は71名の合計89名の参加があり、演題への関心の深さが感じられました。講演の1題目は当院の若林信久管理課長による「院内暴力対策マニュアルについて」。2題目は渋川警

察署 中沢恵一生活安全課長による「不審者に対する対応」でした。講演の後中沢課長より「さすまた」を使用して不審者へ対応できるようデモンストレーションがあり、参加者は指導を受けながら実際に「さすまた」の使用方法を学びました。研修終了後のアンケートからは「院内暴力について今まで学ぶ機会がなかったので学ぶことができてよかった」「警察の方から専門的な講演をしていただいたのでよかった」という感想がありました。当院はどこからでも侵入できる環境にあり難しい面もありますが、他の施設ではすべての面会者に対して記名を求めているところもあります。昨今、群馬県内では医療者が負傷・死亡する事故が2件あったということです。「おかしいな」と感じたときには声を掛け危険を察知する目を養い、患者さまや自分の身も守っていきましょう。



重症心身障害児(者)病棟だより

楽しかった季節行事

療育指導室 田村 達也

重症心身障害病棟では毎年冬期間の季節行事として「1月新年会」「2月節分会」「3月桃の花会」が催されています。

今年の新年会は十二支すごろくや福笑いゲームなどで楽しみ、お正月の雰囲気盛り上げました。福笑いはウシとトラのお面を作成して、その上に利用者さんが目や鼻などを付けました。「へんな顔」になったお面を見ながら皆大笑いでした。



会を彩った虎の置き物



新年会・福笑い

また、十二支すごろくは色々な遊びが書かれてある紙面を前に、二つのチームに分かれて交互にサイコロを振り、出たサイコロの数で「季節の歌をうたう」「楽器を使おうたう」などにぎやかなすごろく会でした。

2月の節分会では保育士が節分の由来をお話しし、みんなで鬼のお面を作りました。その後、年男と年女になられた利用者さんが鬼退治をするという寸劇「桃太郎」を演じました。キジやサル、イヌになった利用者さんは桃太郎からきびだんご(カラーボール)をもらって鬼退治に行きます。突然



節分会・豆まき

現れた鬼に少し怖かったけれど、みんな大声で「鬼は外・福は内」とボールを投げつけました。鬼は「参った参った」言いながら去っていき、見事、福を引き寄せ皆さん大興奮で喜んでいました。

3月の桃の花会ではお雛様の製作に取り組みました。利用者さんはご家族と一緒に折り紙を折って着物を作り、色鉛筆で紙に顔を書き、世界に一つだけの雛人形を完成させました。

こうした様々な行事は地域のボランティアの方々にも多数参加していただきながら取り組まれています。ボランティアの皆様の協力あってこそ円滑に行事が進行されており感謝申し上げます。



桃の花・お雛様製作



また、病棟内やベッド生活ではなかなか季節を感じる事が少ない利用者にとってこうした季節行事は楽しみの一つです。季節に合わせて病棟内の天井装飾や壁画装飾を製作し、おやつも栄養室の協力で季節に合わせたデザートなど出して頂いています。これからも季節感を感じることのできる諸行事に取り組み、利用者ひとり一人の笑顔をたくさん引き出せるように支援していきたいと思ひます。

ボ ラ ン テ ィ ア だ よ り

ソーシャルワーカー 山田 尚子

西群馬病院では、総合案内ボランティアと病棟ボランティアを募集しております。

総合案内ボランティアは、患者さまやご家族様のご案内や玄関・待合ホール環境整備をお願いしております。また、病棟ボランティアは、緩和ケア病棟と重症心身障害児(者)病棟で、毎月行われる行事のお手伝いや、環境整備等をしていただいております。

ます。

病棟での毎月の行事では、各種楽器の演奏やコーラス・アニマルセラピー等のイベントボランティアの方々にもご協力いただいております。

毎月の行事以外でもご協力いただける方はご相談させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

平成22年度年間行事予定

緩和ケア病棟		重症心身障害児(者)病棟	
4月14日(水)	春の歌・花の歌	4月19日(月)	新緑会
5月12日(水)	端午の節句・鯉のぼり	5月21日(金)	春祭り
6月 9日(水)	あじさい祭り	6月28日(月)	七夕会
7月 7日(水)	七夕まつり	7月16日(金)	夏祭り
8月11日(水)	夏祭り	9月 6日(月)	実りの会
9月 8日(水)	十五夜お月さん	10月15日(金)	病棟祭
10月13日(水)	秋・収穫祭	11月15日(月)	芸術鑑賞会
11月10日(水)	菊の香祭	12月13日(月)	クリスマス会(11病棟)
12月15日(水)	クリスマス	12月17日(金)	クリスマス会(12病棟)
12月27日(月)	お餅つき	1月14日(金)	新年会
1月12日(水)	お正月	2月 4日(金)	節分
2月 3日(木)	節分・豆まき	3月 4日(金)	桃の花会
3月 2日(水)	ひな祭り		

総合案内ボランティア

毎週月・金曜日の午前9時から11時までの2時間程度です。
ご都合の良い曜日のみの活動も可能です。

●お問い合わせ先●

国立病院機構 西群馬病院 医療福祉相談室まで。TEL：0279-23-3030

地域医療連携室だより 地域医療機関の紹介

医療法人 川島医院 院長 川島 理

「川島医院」は、先代 尚が、昭和31年に現在地の隣地に耳鼻咽喉科医院（有床）として開業いたしました。父の病気引退を機に、私（長男・理 順天堂大学卒）が、あとをつぎ、また、内科を専攻していた二男・崇が新潟大学から帰ってきた平成6年に、現在の地に新築移転いたしました。1階が内科・小児科、2階で、私が、耳鼻咽喉科の診療をいたしております。

父の時代（昭和30年～40年代）の耳鼻咽喉科は、子供の急性中耳炎・副鼻腔炎・扁桃炎などの急性疾患が主体で、特に夏休みになると、扁桃摘出の入院患者さんもあり、ごった返しておりました。また、この頃は抗生物質などの医薬品も少なく、耳鼻科は「耳洗い・鼻洗い」の科などと言われておりました。昭和50年頃から、生活の欧米化や公衆衛生の発達などもあり徐々に疾病構造が急性疾患から慢性疾患へと変化し、また、抗生物質の開発など医薬品の進歩もあり、外来診療の様相も変わってまいりました。最近では、生活様式の変化・高齢化もあって、「めまい」「耳鳴」「咽喉頭異常感症」なども増えてきています。

最後に、最近、当院で力を入れていることを紹介させていただきます。

①睡眠時無呼吸症候群（いびき）：自宅でできる簡易検査や提携病院での精密検査をおこない、CPAP（在宅療法）の導入

②補聴器相談：耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医の資格を取得

③レーザー治療：難治性のアレルギー性鼻炎の治療

④漢方療法：増加する慢性疾患で従来の西洋学的治療にて対応できない病気（めまい・耳鳴・副鼻腔炎など）や多数の病気を抱える高齢者への対応

⑤往診：病状により制限がありますが、在宅療養の患者さんへの訪問診療

当院は、耳鼻咽喉科ですが、西群馬病院には、肺がん・甲状腺疾患など連携をお願いする患者さんがいらっしゃいます。今後ともよろしく願ひいたします。

川島医院
〒377-0008
渋川市渋川（長塚町）1770市立図書館前
TEL 0279-22-2421
耳鼻咽喉科



川島 理院長

川島内科クリニック 院長 川島 崇

平素より大変御世話になっております。

川島内科クリニックは、渋川市立図書館（長塚町）の前に立地しています。内科は、1階で診療していますが、2階の川島医院（耳鼻咽喉科）では、兄が診療をしています。

私は、新潟大学医学部を卒業後、第二内科に入局し、感染症、呼吸器、消化器、腎臓病等の研鑽を受け、平成6年6月に開院いたしました。

呼吸器疾患、消化器疾患、生活習慣病等を主に診療させていただいていますが、感染症の専門医ということもあり、内科だけでなく小児科の患者さんも来院されています。予防接種につきましましては、子どもから大人まで、また、旅行医学等にも、対応いたしています。これからも、家庭医として努力していきたいと思っております。

これまで、多くの皆様の御支援を賜り、地域の皆様とともに歩んで参りましたが、開院当初より、西群馬病院の皆様には、講演会・病診連携等で、たいへんお世話になっております。特に、呼吸器疾患や肝炎対策では、県内で最も早くより連携体制を確立していただき、たいへん感謝いたしています。

現在、私は、群馬県医師会で、理事をいたしていますが、県内の病診連携は、重要な仕事となっています。西群馬病院と関連の深い分野では、呼吸器疾患・禁煙対策・がん対策・緩和ケア・在宅医療などでの、地域での連携体制の確立が重要となっています。

今後も、診療の充実と地域医療へ貢献出来るように努力をしていきたいと思っておりますので、西群馬病院の発展とともに、診療連携が一層充実していきますよう、御指導を、よろしくお願いいたします。

川島内科クリニック
〒377-0008
渋川市渋川（長塚町）1770市立図書館前
TEL 0279-23-2001
内科・小児科



川島 崇院長



川島医院・川島内科クリニック



栄養管理室だより



お茶のいろいろ

『♪夏も近づく八十八夜…』と茶摘みの歌があるように、新茶の季節となりました。

節分の翌日にあたる立春から数えて88日目の5月2日ごろを八十八夜といい、それを目安に茶摘みが始まります。



一般にお茶と呼ばれるものを分類すると緑茶(不発酵茶)・ウーロン茶(半発酵茶)・紅茶(発酵茶)に分けられますが、どのお茶も同じお茶の木から取れ、途中の製造過程が違うことで色や味、香りが変化し、それぞれのお茶へと変わっていきます。なかでも『緑茶』は蒸すことによって発酵を止めるので、ビタミン類が多く含まれます。

新茶のおいしい飲み方

普段飲む煎茶のお湯の適温は80℃くらいですが、新茶の場合は少しぬるめに70℃くらいにすると甘みが程よく楽しめます。

熱めのお湯ではカフェインなどの苦みが先に溶け出し、新茶特有の爽やかな香りも半減してしまふのです。そしてお湯を入れたら1分程度蒸らし、葉を開かせてから湯のみに注ぎます。2煎目以降はやや熱めのお湯でサッと入れましょう！



【複数の茶碗に注ぐときの味を均一にする注ぎ方】



3つの茶碗にお茶を注ぐと想定します。AとBどちらの注ぎ方が正しいと思いますか？

正解は…『B』です。

なるべく味の濃さを均一にするために最後の茶碗(3番の茶碗)にお茶を注いだら3番の茶碗にもひと注ぎし折り返して2番の茶碗、次に1番の茶碗へと戻ります。



独立行政法人国立病院機構西群馬病院 がん相談支援センター

ご相談方法

- 電話相談・窓口相談は、**事前予約制**になっています。
相談予約受付は、
地域医療連携室 担当:山田(医療ソーシャルワーカー)・山浦(医療ソーシャルワーカー)・新井
電話 0279-23-3294 又は0279-23-3030(代表)内線217・487・214まで
(受付時間は、平日9:00~17:00です)
- メール相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。
E-mail : nishigun@nng.hosp.go.jp

各種がん分野の相談日時

(電話・窓口相談は予約制です。相談は無料です。窓口相談はお一人30分以内でお願いします。)

	分野	相談員	電話相談				窓口相談				メール相談 曜日
			曜日	時間帯	曜日	時間帯	曜日	時間帯	曜日	時間帯	
1	肺がん	斎藤 龍生	火	10:00~12:00	木	10:00~12:00	月	15:00~15:30	水	15:00~15:30	月から金
		富澤 由雄				火	13:00~14:00	金	13:00~14:00	月から金	
		川島 修				木	9:00~10:00			月から金	
2	乳がん・甲状腺がん	横田 徹	水	14:30~16:30	金	13:00~14:00	水	14:00~16:30	金	13:00~14:00	月から金
3	食道・胃・大腸がん	小林 光伸	金	13:00~14:00			金	13:00~14:00			月から金
4	肝臓・胆・膵がん	蒔田富士雄	金	10:00~12:00			木	13:00~15:00			月から金
5	血液・造血器がん	澤村 守夫	月	13:00~14:00							月・火・水
6	緩和ケア(ホスピス)	小林 剛	火	13:00~14:00			火	13:00~14:00			月から金
7	その他(1~6以外)	蒔田富士雄	金	10:00~12:00			木	13:00~15:00			月から金

*メール相談の受付時間は、9:00~17:00

セカンドオピニオン担当医表

科 別	時 間	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日
呼吸器内科 (肺腫瘍)	予約制 午後2:00~	-	富澤 由雄	-	富澤 由雄	-
	予約制 午後3:30~	斎藤 龍生	-	斎藤 龍生	-	-
呼吸器外科	予約制 午前のみ	-	-	-	川島 修	-
血液内科	予約制 午後2:00~	澤村 守夫 松本 守生	-	-	澤村 守夫 磯田 淳	-
乳腺・甲状腺科	予約制 午後2:30~	横田 徹	-	横田 徹	-	-
消化器外科	予約制 午前のみ	蒔田富士雄	-	-	蒔田富士雄	-
放射線科	予約制 午後3:00~	-	松浦 正名	-	-	-
緩和ケア科	予約制 午後のみ	-	-	小林 剛	-	小林 剛

対象者：原則として患者さま本人、患者さまの同意を得た家族 費用：30分毎に5,250円
お問い合わせ先：TEL0279-23-3030 地域医療連携室

診療方針

- 1.がん、特に肺がん・肝がん・造血器腫瘍等を中心とした悪性腫瘍の診断治療を一層強化する
- 2.結核患者の県内拠点病院として質の高い医療を提供する
- 3.重症児（者）の療育については、各職種の連携を密にし、チーム医療の充実を図る
- 4.PCUについては、患者の満足度の更なる向上を目指して、全人的ケア（肉体的苦痛、精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルな苦痛に対するケア）を充実させる

看護の理念

患者さまの立場にたった最善の看護

- 1.患者さまの生命および人権を尊重します
- 2.安全で適正な看護に努めます
- 3.思いやりと真心をこめて看護します
- 4.患者および家族の皆様と共に考える看護に努めます
- 5.知識・技術を向上させ、専門性の高い看護を志します

患者さまの権利

- 1.最善の医療サービスを受ける権利
- 2.人格・人権を尊重される権利
- 3.知る権利
- 4.自己決定権
- 5.プライバシーを保護される権利

外来診療担当医表（平成22年4月1日現在）

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	診察室	担当医	診察室	担当医	診察室	担当医	診察室	担当医	診察室	担当医
消化器内科	5診	オオツカ トシユキ 大塚 敏之	5診	タカムラ ノリアキ 高村 紀昭	5診	オオツカ トシユキ 大塚 敏之	5診	アマサキ タンダイカンク 山崎(群大肝臓)	5診	イワモト アツオ 岩本 敦夫
	6診	ツチヤ ユキコ 土屋友親子(AM)								
呼吸器内科	7診	サイトウ リウセイ 斎藤 龍生	7診	グンダイ カミア 群大(上出)	7診	サイトウ リウセイ 斎藤 龍生	7診	トミサワ ヨシオ 富澤 由雄	7診	ヨシノ レイコ 吉野 麗子
	8診	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	8診	ミウラ ヨウスケ 三浦 陽介	8診	鈴木 淳(5月まで) 土屋友親子(6月~)	8診	ツチヤ タクマ 土屋 卓磨	8診	ワタナベ サトル 渡邊 寛
血液一般内科	3診	マワタリ モモコ 馬渡 桃子	3診	サワムラ モリオ 澤村 守夫	3診	マツモト モリオ 松本 守生	3診	マツモト モリオ 松本 守生	3診	サワムラ モリオ 澤村 守夫
	4診	イソダ アツシ 磯田 淳	4診	ナカハシ ヒロタカ 中橋 寛隆	6診	マワタリ モモコ 馬渡 桃子(PM)	4診	イソダ アツシ 磯田 淳	1診	ナカハシ ヒロタカ 中橋 寛隆(AM) (新患のみ)
消化器外科	2診	マキタ フジオ 蒔田富士雄(AM)	6診	コバヤシ ミツノブ 小林 光伸			2診	マキタ フジオ 蒔田富士雄	4診	メマガ ユキ 沼賀 有紀(AM)
呼吸器外科					6診	カワシマ オサム 川島 修(AM)	6診	カワシマ オサム 川島 修(AM)	6診	カワシマ オサム 川島 修(AM)
乳腺甲状腺			2診	ヨコタ トオル 横田 徹	2診	ヨコタ トオル 横田 徹			2診	ヨコタ トオル 横田 徹
	2診	ヨコタ トオル 横田 徹(PM)								
緩和ケア	6診	コバヤシ 剛 小林 剛(PM)6月~			4診	コバヤシ 剛 小林 剛(PM)			4診	コバヤシ 剛 小林 剛(PM)
整形外科									6診	ワタナベ 秀臣 渡辺 秀臣 (第一PM入院のみ)
放射線科	放	マツワラ マサナ 松浦 正名								

新患・再来予約外 午前受付 8時30分～11時00分
 受付時間 午後受付 12時30分～15時00分（午後は予約診察のみ）
 ※担当医が変更になる場合もございますので事前に電話でご確認下さい。

編集後記

寒暖の激しい季節ではありますが、皆様は如何お過ごしでしょうか？医療従事者でさえも体調をくずしそうな陽気で、健康管理に難渋しそうです。さて当院も地域医療支援病院に認定されました。今後、地域住民の皆様方に対して良質な医療を提供すべく、なお一層の努力が必要となるものと考えます。どうぞよろしくお願ひ致します。
 (M.K)

独立行政法人 国立病院機構西群馬病院

〒377-8511 群馬県渋川市金井2854 TEL 0279-23-3030 FAX 0279-23-2740 <http://www.hosp.go.jp/~wgunma>